

助成事業実施報告書

団体名 あいうえお+プロジェクト

代表者・役職名 氏名 代表 森本純子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

腹ぺこ食堂

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

月に1回、経済的に恵まれない子ども達や、家庭環境の整っていない家庭、交流を取りたい子ども達に対して、手作りの温かい食事を提供し居場所を作ると同時に、学習支援や遊びを通して、交流をはかる活動を増やしていく。

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

月に1回しか活動できていなかったが、この助成金によりプラス5回活動をする事が出来たことに感謝しています。参加者は、夏休みの期間中ということもあり、多い時で約50名の参加者があり、様々な子供たちに参加してもらうことが出来ました。5回すべてに参加した子どももいて、居場所を求めてきていることが明らかになりました。また、助成金により、場所を借り回数を増やしたことにより、地域の方々にも、子ども食堂を周知して頂き、実際に足を運んで見に来ていただくことが出来たので、今後の活動の手助けとなるようになったと思います。実際に、野菜や食材の寄付、ボランティアとして手伝いたいという声もあり、今後の発展と地域の団結力を期待できる効果となりました。

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

今回夏休み期間中、日中の活動をメインに実施した結果、様々な子ども達に活用してもらえるようになりました。しかし、いろいろな子ども達が来ることによって、子ども達一人一人に丁寧に接して聞くということが実際には難しかったです。スタッフの人数を増員するか、1日当たりの人数を制限するか等の課題が見えてき、また、環境の違う子ども達を同じ日に来てもらうのは難しいのではという深い問題もわかってきました。夏休みも終わり、平日の夕方開催するようになりますが、学校等のスケジュール見て開催できる日には、多くの子ども達の笑顔に会いたいと思います。

今後はこのような問題をスタッフ間で話し合い、私たちの子ども食堂・学習支援活動、居場所作りを、行政や地域の方々の協力の元、活動を続けていきたいと考えています。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください



「あいうえお+プロジェクト」です！

食を通して、子どもからユニバ世代まで、みんなが笑顔になれる空間づくりを目指しています。子どもも本日は地域の先輩です。未来の力を君と学びの輪で育みましょう。

腹ぺこ食堂 + 学びの森

2023年7月、仲間交流センターにて、2ヶ月間に開催しました。地域学習活動拡大により、誰もが子どもに親れてきた中で、何ができることはないかと問い直し上げました。お米消費抑制に「腹、おまんこ」で40分、学習支援に子ども達の交流をはかってきました。2023年8月より、活動拠点を移します。できる限り開催していきたい所存です。ご支援はらしくお願いいたします。

- ・子ども食堂
- ・学習支援
- ・子どもの居場所
- ・子ども職業体験
- ・公民館運営
- ・地域交流の場

あいうえお+プロジェクト

地域を問わず、季節問わず、美味しい食は、2023年7月・8月もあがずで活動させていただきます。そのほかの開催はお問い合わせ下さい。

地域がよくなる活動をしていきたいと思います。是非、ご支援ご協力をお願いします。

開催所・お問合せ先

あいうえお+プロジェクト 11代目 森本純子
〒430-0070 静岡県静岡市中央区122-10
TEL: 054-661-3974
Email: aiueo-plus-project@gmail.com
Instagram: aiueo_baryoku